

文化スポーツ観光部

令和7年度 重点目標

- 1 生涯スポーツ活動の推進とスポーツ環境の整備
- 2 日本遺産、文化芸術を生かした魅力ある都市づくりの推進
- 3 上田の魅力発信による誘客促進と選ばれる都市を目指すシティプロモーションの推進
- 4 サントミューゼを拠点とした文化創造都市実現に向けての「育成・市民協働・鑑賞」事業の推進

令和7年度 重点目標管理シート

重点目標		生涯スポーツ活動の推進とスポーツ環境の整備		部局名	文化スポーツ観光部		優先順位	1 位			
総合計画における位置付け		第5編 教育 第2章 新しい時代を拓く生涯学習環境の整備 第2節 生涯スポーツ活動の推進とスポーツ環境の整備		上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け		教育・子育ての環境・文化の充実を促進する					
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け				スポーツ施設整備を進めるにあたり、公共施設マネジメント基本方針と整合を図る。							
現況・課題		・ ライフスタイルが変化し、健康づくりへの関心が高まる中、年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、誰もがいつまでも気軽にスポーツに親しめるまちづくりを進めていく必要があります。 ・ 多様なスポーツ・レクリエーションや競技スポーツ振興を図るため、「上田市スポーツ施設整備計画」に基づき、計画的な施設整備を進める必要があります。 ・ 高地トレーニング・スポーツ合宿の適地として、菅平高原を内外に積極的にPRし、ブランド力を強化させるとともに、各種大会などを誘致することにより、交流人口を増加させることが重要です。 ・ 上田市から世界の舞台や国内の大規模大会等で活躍する選手が育つことを視野に入れ、優れた競技者を発掘し、応援する体制づくりが重要です。									
目的・効果		「第二次上田市スポーツ推進計画」に基づき、体力向上や健康づくりの機会を拡大するとともにスポーツ環境の整備を促進し、生涯スポーツ社会の実現を目指します。			該当するSDGsの目標						
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）		期間・期限 （いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告 （目標に対する進捗状況・進捗度）及び （中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）			期末報告（目標に対する達成状況・達成度）			
①	○ 国民スポーツ大会を見据えた環境づくり （1）準備組織の整備 （2）大会開催に向けた機運の醸成 （3）競技力の向上		令和7年度中	（1） 実行委員会への改組、専門委員会の開催 （2） 大会会期決定に伴う広報啓発の実施 （3） ・ （一財）上田市スポーツ協会を通じた選手、指導者の強化体制への支援【随時】 ・ 全国大会等出場奨励金の交付【60件】	（1） 実行委員会へ改組、構成団体へ専門委員の選出を依頼 （2） 総合型地域スポーツクラブと連携した記念イベントを開催 （3） ・ 競技力向上対策事業補助【11団体】（うち信州やまなみ国スポに向けた事業5団体） ・ 奨励金交付【20件】			（1） 4つの専門委員会を開催し、広報など11分野の基本計画を策定 （2） 競技会会期の決定に伴い、各競技会場に横断幕・懸垂幕を設置 （3） ・ 競技力向上対策事業補助【11団体】（うち信州やまなみ国スポに向けた事業5団体） ・ 奨励金交付【42件】			
②	○上田市スポーツ施設整備計画に基づく施設整備 （1）上田古戦場公園テニスコート整備事業の推進 （2）古戦場公園多目的グラウンド人工芝事業の推進 （3）市民の森公園再整備に向けた検討		令和7年度中	（1） テニスコートの供用開始 テニスコート工事（4期）の施工 （2） 基本設計の実施 （3） 民間と連携した具体的事業の検討	（1） テニスコートの供用開始（4/1～） テニスコート工事（4期）の契約 （2） 人工芝化事業の基本設計の実施 （3） スケート場跡地へのオブスタクルボックスの仮設置			（1） テニスコートの供用開始（4/1～） テニスコート工事（4期）完了 （2） 人工芝化事業の基本設計完了 （3） スケート場跡地へのオブスタクルボックス設置完了 オブスタクルボックス プレオープン（3/28～29）			
③	○生涯スポーツの振興、スポーツを通じた地域づくりと交流拡大 （1）だれもがスポーツに親しむ機会の充実 （2）トップアスリートとふれあう機会の充実 （3）トレーニングキャンプ・合宿等の誘致・支援		令和7年度中	（1） ・ 各種スポーツ大会等【20回】 ・ 教室【30教室】 ・ 「あすチャレ！」【5校】 （2） ・ 「夢の教室」【4校】 ・ ブリリアントアリスとの連携事業【随時】 （3） ・ キャンプ実施チーム等への支援 ・ 合宿に訪れたアスリートとの市民交流の開催【随時】	（1） ・ 市民総合体育大会、爆水Run等【12回】 ・ 教室【31教室】 ・ 「あすチャレ！」【5校】（11月実施） ・ パラスキー選手との交流【1校】 （2） ・ 「夢の教室」【4校】（11月～12月実施） ・ ジュニアアカデミー バレーボール教室開催等支援【随時】 （3） ・ ラグビー男子日本代表候補選考合宿対応【6月】 ・ 小学生を対象としたラグビークリニック【6月】 ・ ラグビー女子日本代表強化合宿対応【6月】			（1） ・ 市民総合体育大会、爆水Run等【22回】 ・ 教室【31教室】 ・ 「あすチャレ！」【5校】 ・ パラスキー選手との交流【1校】 （2） ・ 「夢の教室」【4校】 ・ 公式戦ホームゲーム・バレーボール教室開催等広報支援【随時】 （3） ・ ラグビー男子日本代表候補選考合宿対応【6月】 ・ 小学生を対象としたラグビークリニック【6月】 ・ ラグビー女子日本代表強化合宿対応【6月】 ・ トップアスリート激励訪問【随時】			
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点				○取組による効果・残された課題						

令和7年度 重点目標管理シート

重点目標		日本遺産、文化芸術を生かした魅力ある都市づくりの推進			部局名	文化スポーツ観光部		優先順位	2 位
総合計画における位置付け		第6編 第1章 第1節 文化遺産の継承と活用 第2節 育成を理念とした文化芸術活動への支援と文化創造			上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	2 教育・子育て環境・文化の充実を促進する ・上田城復元的整備、日本遺産活用、サントミューゼ活用			
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		(1) 住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革 ア 移住・定住・交流人口を増やす体制の確立							
現況・課題		○「第二次上田市文化芸術振興に関する基本構想」を総合的に展開していくため、市民団体等と連携しながら、文化芸術活動を支える団体や次世代を担う人材を育成し、文化活動の輪を広げていくことが重要である。 ○令和2年6月19日に文化庁から認定された レイラインがつなぐ「太陽と大地の聖地」龍と生きるまち～信州上田・塩田平～ をテーマとする日本遺産を活用した人材育成、普及啓発、情報発信等の事業を総合的に展開していく。							
目的・効果		○市民による文化芸術活動を充実させ、地域に根差した文化活動や新たな文化創造を支援することにより、「人」、「文化」、「まち」が育まれる魅力あるまちづくりを目指す。 ○上田市日本遺産推進協議会を中心に、日本遺産を活用した各種事業を通じて、観光振興及び地域の活性化を目指す。				該当するSDGsの目標	4 質の高い教育をみんなに 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 15 陸の豊かさも守ろう 17 パートナリシップで目標を達成しよう		
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告 （目標に対する進捗状況・進捗度）及び （中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）			
①	○ 第三次上田市文化芸術振興に関する基本構想の策定	(1) 3月末まで	(1) 第三次上田市文化芸術振興に関する基本構想を策定	(1) 第三次上田市文化芸術振興に関する基本構想の策定 ・ 8月20日に第1回第三次上田市文化芸術振興に関する基本構想策定委員会を開催		(1) 第三次上田市文化芸術振興に関する基本構想の策定 ・ 基本構想策定委員会において4回の審議を経て2月に答申。3月に庁議決定			
②	○ 上田市日本遺産推進協議会との連携・協働による日本遺産活用事業の推進 (1) 普及啓発事業の実施 ・ 日本遺産検定、出前講座等の実施により、上田市日本遺産についての普及啓発を図る。 (2) 情報発信事業の実施 ・ オリジナルロゴマーク活用 ・ PRブース出展 ・ 観光動向調査及び広告配信事業 (3) 受入環境整備事業の実施 ・ 公式ウェブサイトの活用 ・ 旧塩田の館日本遺産紹介コーナーの機能強化 (4) 人材育成事業の実施 ・ 有償ガイドの活躍機会の創出 (5) ふるさと寄附金による財源確保	(1) 通年 (2) 通年 (3) 通年 (4) 通年 (5) 通年	(1) 普及啓発事業の実施 ・ スタンブラリー、日本遺産検定等の実施 ・ 日本遺産活用支援補助制度による民間事業者等の支援 (2) 情報発信事業の実施 ・ オリジナルロゴマーク新規申請件数(10件) ・ 観光キャンペーン等によるPR ・ 日本遺産構成文化財のうち複数個所における観光動向調査及び、その結果を踏まえた広告配信による誘客促進 (3) 受入環境整備事業の実施 ・ 効果的な情報発信を図るため、日本遺産に関するホームページの整理と集約化を実施 ・ 旧塩田の館にある日本遺産紹介コーナーについて、VRゴーグルを設置する等の機能強化 (4) 人材育成事業の実施 ・ 有償ガイドの活用 (5) ふるさと寄附金(日本遺産応援コース) 550件	(1) 普及啓発事業の実施 ・ 千曲市、長和町と連携したスタンブラリーの実施（開催期間：7月26日から11月16日まで） ・ 日本遺産信州上田・塩田平検定受検対策講座を実施（9月6日） ・ 民間事業者等が実施する日本遺産関連事業を支援（上田市日本遺産関連事業支援補助金：申請3件） (2) 情報発信事業の実施 ・ オリジナルロゴマーク新規申請2件 ・ 10月25日、26日開催の日本遺産フェスティバルに出展予定 ・ 生島足島神社等3箇所において観光動向調査を実施 ・ スタンブラリーの実施に併せ、誘客促進を図るためインターネット広告を配信 (3) 受入環境整備事業の実施 ・ リンクバナーの制作等、日本遺産ホームページの改善を実施 ・ 旧塩田の館に上田市の日本遺産をVR動画で紹介するコーナーを設置 (4) 人材育成事業の実施 ・ 日本遺産検定受検対策講座の講師を依頼 ・ 日本遺産検定対策バスツアー等の講師を依頼 (5) ふるさと寄附金(日本遺産応援コース) 296件(9月末現在)		(1) 普及啓発事業の実施 ・ 千曲市、長和町と連携したスタンブラリーの実施（開催期間：7月26日から11月16日まで） ・ 日本遺産信州上田・塩田平検定を実施（12月13日） ・ 民間事業者等が実施する日本遺産関連事業を支援（上田市日本遺産関連事業支援補助金：4件） (2) 情報発信事業の実施 ・ オリジナルロゴマーク新規申請6件 ・ 10月25日、26日開催の日本遺産フェスティバルin倉敷に出展 ・ 2月14、15日に開催の日本遺産マルシェ（有楽町）に出展 ・ 生島足島神社等3箇所において観光動向調査を実施 ・ スタンブラリーの実施に併せ、誘客促進を図るためインターネット広告を配信 (3) 受入環境整備事業の実施 ・ リンクバナーの制作等、日本遺産ホームページの改善を実施 ・ 旧塩田の館の日本遺産コーナー（VR動画視聴コーナー等）を運用 (4) 人材育成事業の実施 ・ 日本遺産検定受検対策講座の講師を依頼 ・ 日本遺産検定対策バスツアー等の講師を依頼 (5) ふるさと寄附金(日本遺産応援コース) 415件			
③	○ 市民や文化団体との連携・協働による文化事業の推進と人材育成の充実 (1) 文化団体連携事業の開催 ・ 上田城跡能・うえだ城下町映画祭 ・ シリーズ文化講演会など (2) 子ども文化講座、子ども文化祭の開催 (3) 上田市文化支援事業補助制度の活用	(1) 上田城跡能(8月) 城下町映画祭(11月) 文化講演会(3月) (2) 7月 2月 (3) 随時	(1) 市民協働による文化事業の推進 ・ 上田城跡能(8月) ・ うえだ城下町映画祭(11月) ・ シリーズ文化講演会(2・3月) (2) 子ども文化講座(7月) 子ども文化祭(2月) (3) 市民団体が主催する文化事業の支援	(1) 市民協働による文化事業の推進 上田城跡能入門講座を8月2日に、本公演を8月23日に開催。最終公演となる今回は、市指定文化財の能面や歴代ポスターの展示等を実施 うえだ城下町映画祭（11月21・22・23日）、シリーズ文化講演会（2月から3月に上田、丸子、真田）の開催に向け実行委員会を開催 (2) 子ども文化講座、子ども文化祭の開催 7月5日に子ども文化講座を開催。子ども文化祭は2月1日に開催予定 (3) 市民団体が主催する文化事業の支援 市民団体が主催する事業を支援		(1) 市民協働による文化事業の推進 ・ 上田城跡能入門講座を8月2日に、本公演を8月23日に開催。最終公演となる今回は、市指定文化財の能面や歴代ポスターの展示等を実施（672人） ・ うえだ城下町映画祭は、11月21から23日の日程で開催（1,059人） ・ シリーズ文化講演会は、2月14日に上田、3月1日に丸子、3月14日に真田で開催（1,358人） (2) 子ども文化講座、子ども文化祭の開催 7月5日に子ども文化講座を開催（約270人）。子ども文化祭は2月1日に開催（約800人） (3) 市民団体が主催する文化事業の支援 市民団体が主催する事業を支援(8件)			
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題					

令和7年度 重点目標管理シート

重点目標		上田の魅力発信による誘客促進と選ばれる都市を目指すシティプロモーションの推進			部局名	文化スポーツ観光部	優先順位	3 位		
総合計画における位置付け		第3編 産業・経済 誰もがいきいき働き 産業が育つまちづくり 第3章 魅力ある観光地づくり 第1節 おもてなしで迎える観光の振興			上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	5 DXやGX等の革新的技術でSDGsを推進、人と自然が調和した活力あるまちをつくる				
		第6編 文化・交流・連携 第2章 交流・連携、移住・定住促進による活力ある都市づくり 第1節 上田市の魅力発信、選ばれる都市づくり								
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 イ 多様な主体が市政に参画・協働する制度づくり ウ 市民への説明責任を果たす的確かつ積極的な情報発信 エ 広域連携の推進								
現況・課題		・ 上田市は、新幹線駅や高速道路ICがあり、首都圏からのアクセスが良く「来やすい」観光地である反面、観光客の滞在時間が短く、観光消費額が比較的少額な地域であることから、滞在型観光を充実させる必要があります。 ・ 上田市は、各エリアで特徴のある観光資源を有していますが、それぞれのターゲット層が異なるため、行政・観光協会・観光関連団体・事業者等、関係者の連携・協働により、エリアを超えた周遊を促すことが重要です。 ・ 上田市は、全国的・国際的に有名なランドマークがなく、インバウンドの「最初の目的地」になりづらいことから、「次の目的地」として選ばれるよう、ターゲットを絞り、海外に効果的にPRしていくことが重要です。 ・ 少子高齢化及び人口減少などの社会構造状況の変化や、働き方、生活様式が多様化する中、上田市が多くの人から「選ばれる都市」となるためには、当市の多様な魅力を市内外に戦略的、効果的に発信していく必要があります。 ・ これからの持続可能なまちづくりを考える上では、定住人口促進へのアプローチだけでなく市外からもまちに興味を抱き、関心や愛着を持続ける人（関係人口）を増やす戦略が重要となります。 ・ 上田市の卓越性を活かし、「暮らしやすさ」「地域の魅力」をアピールするため、行政だけではなく、民間企業や市民団体等も含め総合的なシティプロモーションを展開し、生活情報・観光情報・産業情報に加え、医療や教育、子育て環境などの情報を、発信媒体の特性に応じてタイムリーに発信していく事が重要になっています。								
目的・効果		・ 国内外からの誘客促進に向けた施策展開により、市内観光需要の増加に繋がります。 ・ 観光は関連分野が多岐にわたる裾野の広い産業であることから、誘客促進による地域経済の活性化を目指します。 ・ 行政と民間の役割を明確化する中で、官民連携で「稼げる観光地づくり」を推進します。 ・ 上田市の持つ「人・食・文化・産業・情報」など多様な魅力を市内外へ発信し、シビックプライドの醸成を図りながら、多くの人から「来たい、住みたい、住み続けたい都市」として選ばれることで、まちの賑わいを創出し、持続的発展が可能な都市の実現を目指します。 ・ 上田市の魅力を高め地域を活性化してくために、市内の居住者はもちろんのこと、市外にいても継続的かつ多様な形で関わる「関係人口」へアプローチを行い、更なるまちづくりへの参画を増やすプロモーションを推進していきます。			該当するSDGsの目標	    				
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限 （いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告 （目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）				
①	○ 観光資源の活用推進 （1）歴史的・文化的資源を活用した観光振興 （2）官民連携による誘客イベントの開催	4月～3月	（1）日本遺産等を活用した事業を実施：1回 （2）誘客イベントの開催：4回	（1）7/26～11/16 3市町（千曲市・長和町・上田市）連携スタンプラリーの実施 （2）4/5～4/16 上田城千本桜まつりの開催		（1）7/26～11/16 3市町（千曲市・長和町・上田市）連携スタンプラリーの実施 2/14・15 日本遺産マルシェにて特産品のPRを実施 （2）4/5～16上田城千本桜まつり、10/12上田真田まつり、11/8・9上田城紅葉まつり、2/6～2/11上田氷灯ろう夢まつりの開催				
②	○ 広域連携事業の推進 （1）北陸新幹線沿線自治体等との広域連携による誘客促進 （2）真田街道推進機構等、関係自治体及び各種団体と連携した誘客促進 （3）長野市・松本市との連携によるPR事業の実施	4月～3月	（1）誘客イベント、キャンペーン等の開催：2回 （2）誘客イベント、キャンペーン等の開催：2回 （3）連携イベントの開催：2回	（1）6/28 上田地域観光協議会による「金沢駅観光キャンペーン」に参加 9/1～10/31 北陸新幹線停車駅都市観光推進会議にてYouTube広告配信 （2）8/9・10 真田街道推進機構として大阪お城フェス2025出展 真田街道の8つの城跡を巡る周遊企画を計画中 （3）8/20～26 長野市と連携し、都内飲食店で両市の農産物を活用したキャンペーンを実施 首都圏におけるPRイベント（まるごと長野）を計画中		（1）6/28 上田地域観光協議会による「金沢駅観光キャンペーン」に参加 9/1～10/31 北陸新幹線停車駅都市観光推進会議にてYouTube広告配信 （2）8/9・10 真田街道推進機構として大阪お城フェス2025出展 真田街道の8つの城跡を巡る御城印企画を実施 （3）8/20～26 長野市と連携し、都内飲食店で両市の農産物を活用したキャンペーンを実施 11/22 首都圏におけるPRイベント（まるごと長野）を実施				
③	○ インバウンドの促進 （1）タイ旅行博及び大阪・関西万博における（一社）信州上田観光協会と連携したインバウンド施策の推進 （2）訪日外国人旅行者の受入体制強化の検討	4月～3月	（1）（一社）信州上田観光協会と大阪・関西万博に共同出展 タイ旅行博での現地観光会社との直接商談支援:1社以上 （2）観光事業者との検討会議：2回以上	（1）8/11 大阪・関西万博において長野県・長野市・（一社）信州上田観光協会と共同出展し、おもてなし武将隊をコンテンツとしたプロモーション実施 タイに精通した国内企業を通じ、現地観光会社に対し11月開催タイ旅行博に併せたプロモーションを調整中 （2）観光事業者との検討会議開催（5月・9月）		（1）8/11 大阪・関西万博において長野県・長野市・（一社）信州上田観光協会と共同出展 武将隊をコンテンツとしたプロモーションを実施 11/21～23 タイ旅行博に出展（延来場者55,000人）。出展に併せたプロモーションを実施。現地旅行会社3社と直接商談を実施。 信州上田観光協会SNSフォロワー1,104人増加。 （2）観光事業者との検討会議開催：4回（5・9・12・2月）				
④	○ 「稼げる観光地づくり」の推進 （1）市内各観光協会と連携した観光消費額の増加に向けた施策の展開及び支援 （2）短期計画の策定	4月～3月	（1）（一社）信州上田観光協会HPのDX化支援（予約決済機能追加） 市内各観光協会とともに季節に応じたキャンペーン等の開催：2回 （2）庁内策定会議：2回 関係者策定会議：2回	（1）予約決済機能追加に向けた宿泊事業者説明会を（一社）信州上田観光協会と市内3か所で実施。11月開設に向けて、システム構築及びHP改修を実施中 温泉地と連携した春の宿泊キャンペーンを実施。冬の宿泊キャンペーンを協議中 （2）庁内策定会議、関係者策定会議ともに後期に開催予定		（1）信州上田観光協会HPに宿泊（11/11～）と体験コンテンツ（2/9～）の予約決済機能を開設。 開設に合わせ記念キャンペーンを実施。 温泉地と連携した春の宿泊キャンペーン、冬の宿泊キャンペーンを実施。 （2）関係者（宿泊事業者）策定会議開催：2回（1・3月） 庁内策定会議は未実施				

	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限 （いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告 （目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で 取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）
⑤	○ 関係人口、移住・交流人口の増加を目指すシティ プロモーションの展開 （1）関係人口や移住・交流人口の創出に視点を置 いた首都圏等への情報発信及び誘客促進 （2）総合的且つ戦略的なプロモーションを推進する ための指針の改訂 （3）上田ファンコミュニティ事業の推進	4月～3月	（1）首都圏向けテレビ番組放送による情報 発信：9回 交流拠点イベント：1回 （2）推進指針検討会議：2回 （3）ファンPRイベントの開催：2回 会員数 1,200名（100名/月）	（1）テレビ埼玉で番組を5回放送、交流拠点イベント1回開催 （2）推進指針検討会議開催（7月の庁内連携会議に併せて開催） 推進指針検討会議開催予定（10月の会議に併せて開催予定） （3）ファンPRイベントは後期に開催予定 会員数702名（9/30現在）	（1）テレビ埼玉で番組を9回放送、交流拠点イベント1回開催 （2）推進指針検討会議開催：3回（7・10・12月） 推進指針策定（1月） （3）2/15 ファンPRイベント開催 会員数1,266名（3/31現在）
⑥	○ 地域の魅力を高め、地域の活性化やシビックプライ ドの醸成を図る取組 （1）上田市の多様な魅力を全庁で共有し、連携して 情報発信するための庁内会議の開催 （2）コミュニティサイトやラジオ等による情報発 信と市民力を活用したインナープロモーションの推進	4月～3月	（1）庁内連携会議：2回 （2）ラジオ番組放送：月2回 作成記事のwebサイト配信：週1回	（1）庁内連携会議開催（7月の推進指針検討会議に併せて開催） 庁内連携会議開催予定（10月の会議に併せて開催予定） （2）月2回のラジオ放送による情報発信 市民リポーターによる取材記事6件をWeb配信	（1）庁内連携会議開催：3回（7・10・2月） （2）月2回のラジオ放送による情報発信と、市民リポーターによる取材記 事9件をWeb配信
特 記 事 項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題 ○短期計画は令和7年度中の策定を目指していたが、関係者との協議の中で、県の宿泊税の活用方針をを踏まえた上で策定する こととしたことから、令和8年度中に策定する。	

令和7年度 重点目標管理シート

重点目標		サントミュージーゼを拠点とした文化創造都市実現に向けての「育成・市民協働・鑑賞」事業の推進			部局名	文化スポーツ観光部		優先順位	4 位
総合計画における位置付け		第6編 文化・交流・連携 第1章 多彩な文化芸術の継承と創造 第2節 育成を基本理念とした文化芸術活動への支援と文化創造			上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	2 教育・子育て環境・文化の充実を促進する ・上田城復元的整備、日本遺産活用、サントミュージーゼ活用			
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 エ 公共施設マネジメントの推進 オ 受益と負担のあり方の見直し							
現況・課題		「文化の薫る創造都市うえだ」の拠点施設として、サントミュージーゼには「育成」を基本理念の根底に据え、文化芸術のもつ多面的な効果を通じて、ひと・まち・文化を育む事業展開が期待されてきました。複合施設として多様で質の高い芸術に対応できる空間を用意し、市民がさまざまな芸術文化と触れあえる機会を提供するとともに、市民自らが、さまざまな形で発表できる場を提供することが求められています。							
目的・効果		サントミュージーゼを文化創造の拠点施設と位置付け、上田市の有する地域文化や歴史的、文化的遺産等の資源を活かし、地域の将来を担う子どもたちの育成を目指します。 また、文化芸術のもつ力や多面的な効果を活かし、人が集まることでの交流人口の増加やまちに賑わいと活気をもたらすことでの、観光や商業、地場産業など地域経済への波及効果も期待し、心豊かな都市創造の拠点とします。				該当するSDGsの目標			
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）		期間・期限 （いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告 （目標に対する進捗状況・進捗度）及び （中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
①	○ 文化創造都市としての「創造育成」事業の推進 （1）小学校や地域の公民館等へアーティストが出向き、ワークショップ、コンサートを開催する「芸術家ふれあい事業」の実施 （2）「子どもアトリエ事業」の実施及び一般市民向け講座の実施（高校生以上） （3）第3回新進演奏家リサイタルの出演者オーディションを実施		（1）4～3月 （2）4～3月 （3）9月	（1）市内小学校24校、9地域（公民館等）で実施 （2）子どもアトリエ体験プログラム及び市民向け講座を50回実施 （3）第一次選考（音源選考）の後、9月に第二次選考を実施	（1）市内小学校5校、2地域（公民館等）で実施 （2）子どもアトリエ体験プログラム及び市民向け講座を59回実施 （3）12月の一次選考、2月の二次選考へ向け、募集要綱等を作成		（1）市内小学校24校、9地域でのワークショップ、コンサートを開催 （2）子どもアトリエ体験プログラム及び市民向け講座を125回実施 （3）1月に一次選考、2月に二次選考を実施し、最優秀賞をはじめ、各種受賞者を決定		
②	○ 市民とともに歩む「市民協働」事業の推進 （1）市民参加型事業の実施 （2）市民団体と協働した企画展覧会の実施		（1）7～12月 （2）4～12月	（1）市民及び高校生との演劇・ダンス・音楽3公演、演劇・ダンスのワークショップ12回 （2）東信美術展の開催（6/21-6/29）	（1）演劇のワークショップを2回実施 （2）東信美術展の開催（6/21-6/29）		（1）市民及び高校生との演劇3公演、演劇・ダンス・音楽のワークショップ17回を実施 （2）東信美術展の開催（6/21-6/29）		
③	○ 魅力ある「鑑賞」事業の開催 （1）質が高く魅力ある公演、展覧会の実施 （2）市民から要望の多い公演、展覧会の実施 （3）身近に親しめる公演、展覧会の実施 （4）地元メディアや興行主との共催や、各種団体と連携した公演、展覧会の実施		（1）4～3月 （2）4～3月 （3）4～3月 （4）4～3月	（1）～（4） ・ 市民要望に応えた自主事業38公演、共催事業10公演、提携事業5公演 ・ 美術館展覧会9回開催	（1）～（4） ・ 市民要望に応えた自主事業11公演及び共催、提携事業を8公演開催 ・ 美術館展覧会6回開催		（1）～（4） ・ 市民要望に応えた自主事業39公演、共催事業10公演、提携公演6公演を実施 ・ 美術館展覧会9回開催		
④	○ 健全運営に資する事業経費の確保と適切な施設管理 （1）国、県等の助成金等自主財源の獲得 （2）効果的な共催事業の実施 （3）サントミュージーゼパートナーズ（上田市交流文化芸術センター賛助会員制度）による寄附受け入れの充実・拡大 （4）安心・安全な施設運営のための適切な施設・設備の維持管理		（1）4～3月 （2）4～3月 （3）4～3月 （4）4～3月	（1）国、県、財団法人等の助成金等自主財源の獲得 （2）演劇・ダンス・音楽7公演 （3）前年度水準若しくは上回る賛助会員数及び寄附額の獲得。企業等との事業での関係構築 （4）施設及び設備等の状態把握と計画的な修繕の実施	（1）文化庁文化芸術振興費補助金等の申請を積極的に実施 （2）演劇2公演・ダンス2公演・音楽1公演の実施 （3）50件のパートナーズを獲得 （4）舞台及び設備の修繕必要箇所の計画的な修繕業務を実施		（1）助成金申請4件に対し2件不採択であったが、その他採択により自主財源を獲得 （2）演劇5公演・ダンス2公演・音楽3公演を実施 （3）パートナーズ50件（432万円）を獲得 （4）施設設備、舞台設備、備品等の修繕を計画的に実施（26件）		
⑤	○ 次期運営管理計画・運営方針の策定 （1）第3期（R8年度～R12年度）運営管理計画及び運営方針の策定を行う		（1）4～3月	（1）令和6年度に作成した事業・運営検証の調査報告を踏まえ、年度内の計画及び運営方針の策定を実施	（1）交流文化芸術センターでは、調査報告を踏まえた課題の洗い出し等を行い、6月と8月に実施した運営協議会へ諮り、意見聴取等を実施 市立美術館においては、7月に開催した協議会において、運営に関する実績や課題について報告・協議を行い、意見聴取等を実施		（1）交流文化芸術センターでは6月、8月、12月、3月の計4回の協議会を実施し計画内容について協議し計画案を策定した。 市立美術館では、7月、11月、3月の計3回にわたり協議会を開催し、方針内容について協議を行ない、方針案を策定した。		
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点				○取組による効果・残された課題				